

令和7年度小学校教科担任制実施報告書(中学年型(第4学年))

学校名
大竹市立小方小学校

1 学校の概要

(1) 学校の学級数

	通常学級							特別支援学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
学級数	2	2	2	2	2	3	13	4	17

2 加配教員が専科指導を行う教科及び週当たりの担当授業時数

(1) 第4学年の指定教科等

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
算数	4	2	5	10	
理科	4	2	3	6	
体育	4	2	3	6	

授業時数 計 22 (a)

(2) その他

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
				0	

授業時数 計 0 (b)

授業時数 合計 22 (a)+(b)

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	道徳	外国語活動	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	7		2.6	5	3	1.7	1.7	3	1	1	2	1
4年 1組 (担任: A)	A	A	A	推進	推進	専科	専科	推進	A	A	A	A
4年 2組 (担任: B)	B	B	B	推進	推進	専科	B	推進	B	B	B	B

4 第4学年担任が指導を行う教科等及び週当たり授業時数

学年・学級	児童数(人)	担任	担任する学級以外の授業時数(週当たり)				担任する学級の授業時数	授業時数の合計
			指導学年・学級	教科等名	時数	時数計(c)	(d)	(c)+(d)
4年1組	32	A				0	14.6	14.6
4年2組	31	B				0	16.3	16.3

5 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

〈効果のあった取組〉	
①	算数の指導に専門性をもつ教科担任制推進教員が算数を担当した。
②	教科担任制推進教員が学年すべての児童の学習状況等を把握し担任と共有した。
③	児童が学級担任以外の教員とかかわる時間が増えるようにした。
④	担任の授業の持ち時間を軽減した。

〈成果〉	
①	児童が教科の内容をより深く理解することができた。標準学力調査の偏差値が昨年度より2.9ポイント上昇した。
②	児童理解が深まり、個に応じた指導が十分行えた。
③	中学校の教科担任制へのスムーズな移行が期待できる。
④	生徒指導上の諸課題に迅速に対応できた。また、時間外勤務の短縮となり、時間外勤務45時間以内を達成できた。

〈課題〉	
①	授業研究を一人でやることになるため、新しい価値観やアイデアを取り込みにくい。

〈対策〉	
①	職員間で教材研究時に相談をしたり、専門講座を受講したり、廿日市市大竹市教育研究会等で情報交換を行ったりした。